



真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより

夏号
2022

発行所 真宗大谷派 旭川別院
輪 番 太田 法生
〒070-0030 旭川市宮下2丁目
TEL.0166-22-2409
FAX.0166-22-2411

■印刷:植平印刷株式会社
■旭川別院ホームページ

真宗大谷派旭川別院 | 検索

いのちの一大事



蘭越町 法誓寺住職

黒萩

昌

私たちは自らの知恵によって、かなり早い段階で「死すべき身」であることを知ってしまいます。そして同時に、その問題が自分では決して克服することはできないということの本能的に感じ取ります。そのために、私たちはその大事な問題を誤魔化し続けて生きるしかないのです。そのことを安田理深先生は「人間は死を語りながら、それを向こう側におき、不安に思いの蓋をして、波のまにまに浮かんでいる」と教えてくれています。

人間はどこからきて
今どこにいて
どこへ行くこうとしているのか

もう亡くなられましたが、立花隆というジャーナリストがおられました。蔵書が十萬冊とも二十萬冊とも伝えられ「知の巨人」と言われた方です。田中角栄元総理大臣の贈収賄事件を十年余りにわたって追い続け、一躍世に脚光を浴びた方でもありました。晩年その当時に振り返って、立花隆さんは「自分の人生にとって全く無駄な時間だった。今思い返しても腹

が立つ」と述懐しておられます。不思議な話です。自分を世に送り出した「元総理の贈収賄事件」を追った日々を「全く無駄な時間」だったと言われるのです。それは、「人間としてもっと尋ねなければならぬことがあった」ということなのでしょう。

そんな立花隆さんに膀胱がんが見つかります。診断は再発率八〇パーセントという、まさに「死」を目前に実感させられる出来事でありました。その頃から、立花隆さんを捉えたのは、「人間はどこからきて今どこにいて どこへ行くこうとしているのか」という大きな問いでした。

自力無効

じりきむこう

それから立花隆さんは、その並外れた知的好奇心をもって、「人間は死ぬとどうなるのか」という問いをかかえ、医学や生命科学あらゆる分野の専門家のもとを尋ね世界中を飛び回ります。さらには臨死体験にも非常な興味をもち体験者・研究者のもとを訪れたりもします。

その結果出された結論は「死後の世界を知ることは科学では不可能である。人間は死んだら無に還る」というものでした。そして「墓も戒名もいらない、遺体はゴミとして処理してほしい。蔵書は全て

古本屋へ」ということを身内に伝えられたということでした。(以上 NHKドキュメント番組『立花隆 最後の旅』より、聞き書きのため完全に正確なものではありません。その点ご留意ください)

ここで教えられることは、私たち人間には、どうしても問い尋ねなければならぬ「人間はどこからきて 今どこにいて どこへ行くこうとしているのか」という大きな問題、「いのちの一大事」があるというところ。そしてその問題に対して私たちの自力は無効であるということなのです。

立花隆さんは「人は死ななければならぬ。どこかで、来るべき死を受け入れるという方向へスイッチを切り替えるしかない」ということも番組の中で語っておられました。

性(な)は立花隆さんに、「私は学はありません。今はただ感謝しかありません。家族に『ありがとう、さようなら』ただそれだけを言って死んでいきます」と語られました。

『歎異抄』に「親鸞におきては、ただ念仏して、弥陀にたすけられまいらすべしと、よきひとのおおせをかぶりて、信ずるほかに別の仔細なきなり。念仏はまことに浄土にうまるるたねにてやはんべるらん、また、地獄におつべき業にてやはんべるらん。総じてもつて存知せざるなり」とありますが、ここには、地獄・極楽といった死後の世界に対する迷いも不安も突破した、平穩でひろやかな世界があります。現生不退とはこのようなことなのかと思います。

現生不退

げんしょうふたい

かつて北海道教区が大変お世話になりました仲野良俊先生が、晩年体調を崩された中、名古屋大谷クラブで五回にわたって話された講義録が、『浄土真宗』(東本願寺出版部)として一冊の本にまとめられています。その中で先生は、一貫して「真宗は現(げん)生不退(しょうふたい)(生きている間のすくい)です」ということを繰り返し繰り返し繰り返しておられました。

宗祖親鸞聖人生誕八百五十年・立教開宗八百年を目前にして、私たちはこの「真宗は現生不退です」ということをいよいよ明らかにしていかなければならないのだと思います。

この番組の中で最後に立花隆さんは、鳥取県の「野の花診療所」というところを訪問し、そこで末期がんを生きる高齢の女性にインタビューします。そこでこの女

生きて来たのではない 生かされてきた

この女性の話を聞いた後、立花隆さんは「人間は連関体であり、いのちの連続体である」と言われました。「いのち」は単独で在るのではない、無数の命が互いにかかり合って、つながり合って、しかもそれが永遠に連続している」ということなのでしょう。

「野の花診療所」で、立花隆さんにどのような心境の変化があったのか知る由もありませんが、この番組の最後の言葉から「生きて来たのではない、生かされてきた」という、そんな境涯に立たれたのではない、そんな気がいたします。

この『立花隆 最後の旅』というドキュメント番組との出会いを通して、今一度、私自身の「いのちの一大事」について仏法に尋ねて参りたいと思います。

*文中の連関体・連続体は文脈から予想し当てた漢字です。

法座・行事案内予定

8月

1日〜12日 盆参り(8月は月参りお休み)
13日〜15日 午後1時 孟蘭盆会 眞栗 義丸師
18日 午後1時 婦人会 あゆみ会 列座
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

9月

1日 午後7時 公開学習会 畠山 明光師
3日 午後1時30分〜3時30分 公開講演会 中西 志香師
7日 午後1時 群萌の会 列座
8日 午後1時 マヤの会 列座
13日 午後1時 初心の集い 列座
16日 午後1時 同朋の会 列座
17日 午後7時 壮年の集い 列座
18日 午前10時 婦人会報恩講・総会 列座
22日〜24日 午後1時 秋季彼岸会 菊地 得典師
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

10月

1日 午後1時 公開学習会 畠山 明光師
3日・4日 大谷婦人会一泊研修 輪番 列座
7日 午後1時 群萌の会 列座
8日 午後1時 マヤの会 列座
13日 午後1時 初心の集い 列座
15日 午後7時 壮年の集い 列座
16日 午後1時 同朋の会 列座
18日 午前10時 婦人会 列座
未定日 午後1時 報恩講実行委員会 列座
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

11月

1〜5日 旭川別院報恩講 義盛 幸規師
1日 速夜〜3日 日中 義盛 幸規師
3日 速夜〜5日 御満座 黒萩 昌師
7日 午後1時 群萌の会 列座
8日 午後1時 マヤの会 列座
16日 午後1時 同朋の会 列座
18日 午後1時 婦人会 列座
19日 午後7時 壮年の集い 列座
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

※コロナ感染状況により、行事の変更も
あります。ご了承下さい。



輪番感話 ⑧

昨年の流行語に「親ガチャ」という言葉がノミネートされていた。子供が小さい頃スーパーマーケットの入り口では、「ガチャポン」が必ずあって、百円から三百円を投入して、表面には子供が描かれているようなミニチュアが出てくるものが、丸いカプセルが出てくるものの中身は、ほとんどがつまらないハズレのものであった。

「親ガチャ」とは親を選ぶことの出来ない、ゲームの世界にならって出来た言葉なのであるという。確かに親を選ぶことは出来ないし、性別や時代、場所や環境も選ぶことは出来ない。

現代は格差社会が徐々に広がり、悲しい現実も明らかとなってきた。その一端にはワーキング・プアーによる貧困や、ヤングケアラーといわれる問題も表面化する反面、東京大学に入学する学生の親の年収は、950万以上の世帯が約6割であるという。

仏教の観点からいえば、釈尊の誕生後に天と地を指差し、「天上天下・唯我独尊」と云われたことは、(どんな境遇であっても全ての人が、かけがえのない一人ひとりであって、無条件に尊い存在である)生まれてきたこと、存在そのものが尊いのであると教えられる。

先日のある研修会でのこと、ご講師の先生がラジオを聞いていたことのなかで、お話を紹介して下さった。それは、小さなお子様がお母さんと添い寝をしていたとき、その男の子が「僕は何をしたいに生まれてきたの?」と、お母さんに聞いたそうです。お母さんはすぐに答えることが出来なくて、しばらく考えていたのがあるが、その男の子が突然「わかった!。僕は、お母さんに会いに来たんだ!」と。お母さんは、まさにその子に言い当てられ、胸が熱くなったことを紹介しておられたのである。

(太田 法生)

大谷婦人会報恩講のご案内

日時 九月十八日(日)午前十時
内容 お勤め・法話(輪番)・お齋
会場 旭川別院本堂

*詳細については、八月十八日午後一時からの例会でご連絡します。

■大谷婦人会一泊研修のご案内
日時 十月三日(月)・四日(火)
行き先 層雲閣グランドホテル(行く前に別院で輪番の法話聴講)

*詳細については、九月十八日午後一時からの例会でご連絡します。

*旭川別院ご門徒の女性は全員婦人会員です。

親鸞聖人御誕生八五〇年 慶賛法要と関東ご旧跡めぐり

太田輪番同行

■出発日 二〇二三年四月十九日(水)
三泊四日

■旅行代金 お一人様
十七万二千円(税込)

■申込金 三万円(旅行代金に充当)

■募集人員 三十五名
(最少催行人員二十五名)

■締め切り 二〇二二年十二月十六日(金)

※お問合せは旭川別院までご連絡下さい。

行程表

日	月日	行	程	(○)入場・(□)下車	食事	宿泊地	
1	4月19日(水)	旭川	新千歳空港	ANA 744便	伊丹空港	京都市内	
		6:30	10:00	11:00	普通席	12:55	
		7:00					◎京都国立博物館『親鸞展』
							◎京都市内(泊)
2	4月20日(木)	ホテル	◎宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗八百年慶賛法要			東京都内	
		8:00					◎京都駅
			のぞみ306号	品川駅	16:55		◎東京都内(泊)
			新橋駅				◎東京都内(泊)
3	4月21日(金)	ホテル	◎稲田・西念寺	11:00		鬼怒川温泉	
		8:30					◎河和田・報佛寺
			◎日光東照宮見学				◎鬼怒川温泉(泊)
							◎鬼怒川温泉
4	4月22日(土)	ホテル	◎大谷観音			旭川	
		8:30					◎東京スカイツリー・ソラマチ
			羽田空港	ANA 73便	新千歳空港		
				普通席	18:30		旭川
							21:00

記入例: JR 〃 私鉄 〃 航空機 〃 バス 〃 船 〃 徒歩 〃 ロープウェイ、リフト 〃

二坂さん相続講金賞典の御紹介

この度、二坂 肇さんが(注)相続講金の賞典として、本山より御絵伝(親鸞聖人の一生を図画したもの)を賜り、御紹介させて頂きます。

(注)相続講金とは、法義相続・本廟護持(親鸞聖人のみ教えを受け継ぎ、本山・真宗本廟を護持崇敬すること)の精神によるご懇念(懇志)を相続講金といえます。その賞典としては、多種の賞典があります。(詳細は別院に問い合わせ下さい)



絵図は下段は「親鸞聖人の臨終の様子」と上段は「本廟の創立(後の東本願寺)」の場面この二つの場面を掛軸として賜りました。

令和四年度(通常)院議会を開催

六月十七日、大谷ホールにて令和四(二〇二二)年度旭川別院院議会(通常会)が開催されました。当日は二十四名(委任状五名・欠席六名)が出席。議長には安藤信幸議員、議事録署名議員には、野村幸夫議員及び屋敷桂子議員が選出されました。議会において一議案(議案別記)が上程され、慎重審議の結果、全会一致で可決されました。なお、二〇二二年度予算につきましては、本年三月二十九日に開催された臨時院議会において、全会一致で可決されました。

秋季彼岸会

※令和四年九月二十二日(木)〜二十四日(土)※
午後一時より本堂にてお経が勤まりご法話があります。ご参詣下さい。

講師 湧別 聖明寺 菊地 得典師

お知らせ

現在納骨堂及び石倉倉庫の外壁改修工事を行なっています。左記の期間中、皆様には騒音等で大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご了承いただきましてようお願い申し上げます。

工期 六月一日〜十月下旬頃まで



公開講演会のご案内

南無阿弥陀仏 人生まれたこの意味をたずねていこう

日時 9月3日(土)
午後1時30分〜3時30分

講師 中西 志香氏
(北海道教区 駐在指導)

会場 旭川別院本堂・大谷ホール
※聴講無料
—どうぞご参詣下さい—

皆様のご聴聞、お待ちしております。



公開講演会



暁天講座

議案

第一号 二〇二二年度決算について

報告

(1) 旭川別院報恩講について
参議会議員に係る件

(2) 納骨堂等改修工事に係る件

(3) 宗祖親鸞聖人誕生八百五十年・立教開宗八百年慶賛法要の団体参拝について

(4) 旭川別院会計不正経理問題について

(5) 旭川別院同朋の会主催による「ウポポイ研修旅行」について

(7) 旭川別院会計の任期満了に伴う任命(再任)について

別院子ども会

夕べの集いのご案内

お盆のちよとした一時を楽しくお寺で過ごしていただきたいという願いのもと本年より夕べの集いを開催いたします。本堂でのおはなし、花火大会、豪華景品のあたるビンゴ大会などを予定しています。お子様を対象とした内容ではありませんが、大人の方でも、御門徒の方以外でもどなたでもご参加いただけます。沢山のご来院お待ちしております。

コロナの感染状況により中止になる場合もあります。ご心配な方は当日別院までお問い合わせください。

日時 八月十三日(土)十八時三十分〜
場所 旭川別院本堂
参加費 無料

盂蘭盆会

お盆とは『仏説盂蘭盆経』というお経に起源があります。

お釈迦様の御弟子に目連尊者という方がおられます。目連がお釈迦様の仰せに従ったところ、母はたちどころに餓鬼道から天上界に浮かぶことが出来たと伝えられています。

八月十三日(土)初盆者追悼会
八月十四日(日)盂蘭盆会
八月十五日(月)前戦没追悼会

午後一時より本堂にてお経が勤まり法話がございます。

講師 第十二組 恵嶺寺 真栗 義丸師



「ホームステイに来ているコンクリンさんがお寺を見てみたいと言うから、つれていっていい？」ある門徒さんから電話がありました。

コンクリンさんはアメリカから来た高校生。日本語を勉強している背の高い女の子でした。長い脚を折りたたんで今、門徒さんといっしょに本堂に座っています。



遠軽町 法願寺

埴山 和成

光あるうちに、光のなかを歩め

仏 法
こ あ
れ れ

道内御法話巡り

嘆仏偈をあげたあと「何か質問はありますか」と尋ねたとき、コンクリンさんはすっと立ち上がったかと思うときなり私の前を横切り、一段高くなつた内陣(阿弥陀さんのおられる場所)にずかずかと入ってお灯明を指さして言いました。「これは何ですか？」それから後は質問攻めです。片っ端から仏具を指さして尋ねるのです「これは何ですか？これは何ですか？...」私はタジタジした...

私が住職になり立てだった今から十年ほど前の出来事です。私にとって目からうろこが落ちた出来事です。

コンクリンさんの質問は私が住職になって初めて受けたような質問だったからです。いや、それまで門徒さんからは色んな質問を受けてはきました。でも、その質が違っているのです。私が今までに受けた、ほとんどの質問は「これはいいですか、ダメですか？」だったのです。お仏飯の話をすると「でも、こうしてもいいでしょ？」と返ってきます。法事の日を決めるときは必ず「遅くしたらダメだけど、早くするならいいんでしょ？」という言葉が付きまします。「これ、してもいいですか？」「これはダメなんでしょ？」「いい？」「ダメ？...」繰り返される「いいか、わるいか」の質問に少々疲れて「いいですよ」と答えていたところだったのです(そのときの「いいですよ」は「どっちでもいいです」

よ」の意味でした)。

私が驚いたのはコンクリンさんの立っている場所でした。「何も知らない」に立つコンクリンさんはイキイキとしています。知らないことの明るさ、素直さ、そして素晴らしさです。本当に光って見えました。

もうひとつ見えてきたのは「これ、してもいいですか？ダメですか？」という質問に受け答えしている私の立っている場所でした。目からうろこが落ちて見えてきたのはここです。とっても暗い、どんよりとした場所でした。そしてその場所を暗くしているのは、まさしくこの私だったのです。

その日から私の受け答えが変わったように思います。「これ、ダメなんですよ？」には「ダメ？」「いったい誰がダメって言うたの？」「法事は遅くしたらダメだけど、早くするならいいんでしょ？」そう言っている人にそのわけを尋ねられたらいいね「これ、いいですか？」「はあ、何にとってもいいと思うんだらうか？」

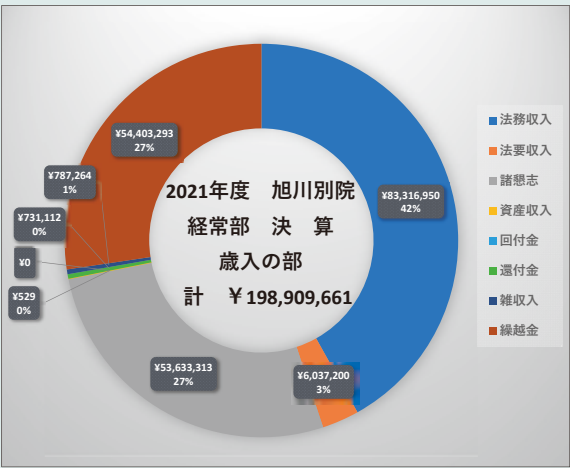
コンクリンさん、習字も習っていると聞いたので、お寺の掲示板に貼る法語を和紙に書いてもらいました。大きな字で書いてもらったのは、もちろんコレ！

「光あるうちに、光のなかを歩め」
光を放つて私を導いてくれたコンクリンさん有難う。

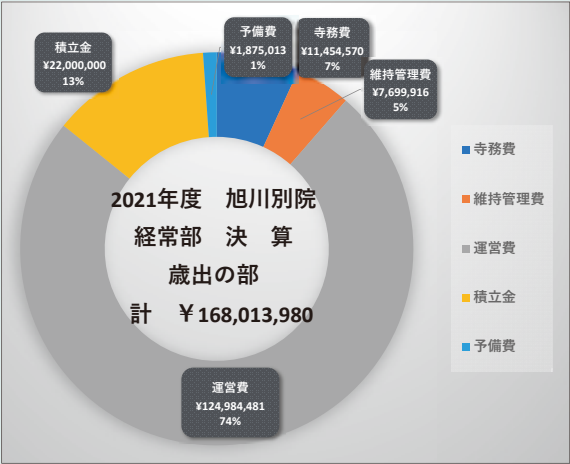
2021年経常会計決算並びに2022年度予算

<2021年度決算>

2021年度歳入決算	
法務収入	¥83,316,950
法要収入	¥6,037,200
諸懇志	¥53,633,313
資産収入	¥529
回付金	¥0
還付金	¥731,112
雑収入	¥787,264
繰越金	¥54,403,293
合計	¥198,909,661

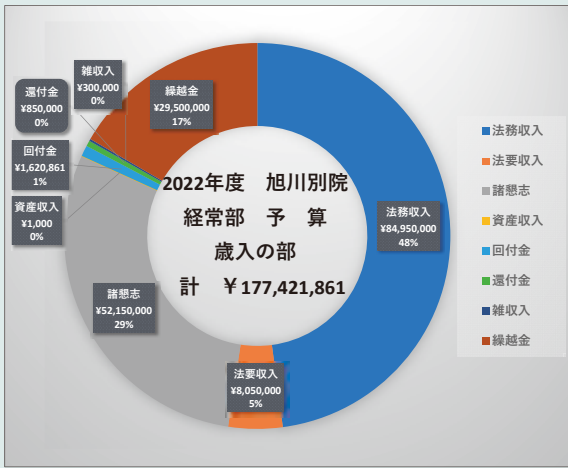


2021年度歳出決算	
寺務費	¥11,454,570
維持管理費	¥7,699,916
運営費	¥124,984,481
積立金	¥22,000,000
予備費	¥1,875,013
合計	¥168,013,980

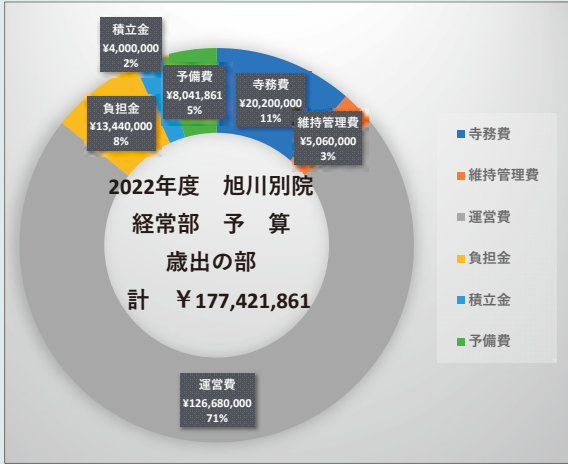


<2022年度予算>

2022年度歳入予算	
法務収入	¥84,950,000
法要収入	¥8,050,000
諸懇志	¥52,150,000
資産収入	¥1,000
回付金	¥1,620,861
還付金	¥850,000
雑収入	¥300,000
繰越金	¥29,500,000
合計	¥177,421,861



2022年度歳出予算	
寺務費	¥20,200,000
維持管理費	¥5,060,000
運営費	¥126,680,000
負担金	¥13,440,000
積立金	¥4,000,000
予備費	¥8,041,861
合計	¥177,421,861



幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園

旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り

新年度が始まりました。新しく入園した子ども達も、ゆつくりと幼稚園の生活に慣れてきて、安心して遊び始めました。豊かな自然環境の中で、虫やお花、葉っぱや木の实など、様々な物に触れて感じた事を、先生やお友達と話し合えるように、温かく子ども達を見守りたいと思っています。

春から夏へ季節を感じる

*0歳児 ひよこ組

先生と一緒に外気浴。たんぽぽをじっと見つめたり、葉っぱを触ってみたりしています。



*1歳児 りす組

「わー！ちよつと高い木の枝に手が届いたよー」と感じているようです。



木の实を拾って一緒に見て、触ってみます。

*2歳児 うさぎ組

みつけたダンゴムシを指先で優しく持つようになりまし。



筆を持ってウッドデッキで水絵かき。「これぶどうだよ！」「おうちでぶどう食べたよ！」とお友達との会話が広がります。

*3歳児 こあら組

雨上がりの水たまり。早速泥水遊びが始まります。



バカポコ(木のぼつくり)で、バランスを取って歩けるようになりまし。

*4歳児 ばんだ組



白樺の木の皮をめくってみます。「何かいるかな〜？」



虫探しが大好き。お部屋ではカタツムリを飼育しています。

食育活動

◆野菜を育てる

自分で植え、水をあげて育てた野菜を収穫して食べることで、命をいただくことへの感謝の気持ちをもち、もらいたいという願いから、畑やプランターで野菜作りをしています。それぞれのクラスで、植えた物を子ども達と決めたり、先生のお手伝いをお願いしたりしています。



ばんだ組…じゃがいも植え



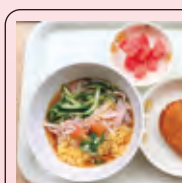
こあら組…枝豆・ささげ豆の種まき



うさぎ組…二十日大根の種まき 赤ちゃんをおんぶしてお水あげに行くお母さんがいました！

◆よもぎ団子作り(きりん組)

河川敷でよもぎをみつけると、匂いを確かめていました。沢山摘んできてよもぎ団子を作っていました。



◆季節の給食 ☆七夕まつめん

5歳児 年長きりん組の活動

★お祭り見学★おまつりごっこ



★自然活動

「旭川の植物図鑑」を持って、お寺の境内、神楽岡公園、北方野草園に出かけ、植物調べをしています。たんぽぽにも種類がある事を学びました。



2年ぶりに行われた護国神社祭。お祭りを見る経験が無かったので、お散歩しながら屋台をのぞいてきました。幼稚園に戻ると、金魚すくい作りが始まり、おまつりごっこで小さい組さんを招待しよう！ということになり、張り切っています！

身近な草花でたまたまめ

ご門徒の声

亡き母を思いつつの参詣



門徒
諏訪かよ子

別院にお参りする度に思い出される苦い(にがい)思い出があります。

入院中の母が「今日はお彼岸なのでお寺参りの日よね」と言っていて私を見つめていた母の顔でした。

自分が行く事が出来ないで、私に代わりにお参りに行っていて欲しいと言っている目であることは判っているのですが、自分の予定に追われて、取り敢えずのお世話だけして、後髪を引かれる思いで、出かけてしまったことでした。

悪いことは重なるもので、札幌で大学在学中の息子が交通事故で北大病院入院中、私は産休代償教員をしていて、学校、社会活動、民生児童委員と忙しく、母には本当に申し訳なかったのです。我人生最大のピンチでした。

息子の看病のため通っていたある日、座席が一緒の老人に「奥さんは札幌に、お買物に行つてくれたのですか」と尋ねられて、息子の入院の話を致しましたところ、荷物の中から一冊の小冊子を出されこれを息子さんに読んで貰って下さいと言つて「歎異抄」を下さしました。スワツを着ておられたので判らなかつたのですが、お話を伺っているうちに鷹栖のお寺のお坊様だったのです。

お坊様の話を聞いて、頂いた本をわたしたところ「この本は読んだことがあるけれど、もう一度読んでみるネ」と言つて繰り返し読んでくれる様で息子が歎異抄を知っていたことに驚き、とてもうれしく思ったことでした。

年令を重ねて全ての社会参加を終えて毎月二回の月忌参り、お盆参り、お彼岸、永代経婦人会、群明の会等に参加して、その時は亡き父母の在りし日を思い心穏やかになる様な気が致しますが終つて家に帰ると元の煩悩具足の凡夫に戻つてしまふのです。

毎日お内仏に手を合わせ、念仏を称え、ことある度にお寺に参るのが当たり前の生活であつた両親の有りようを思いうかべながら、仏前に座している自分を、これが普通の門徒と言う事なのかしらと思う昨今でございます。

うどんダ

連日、ウクライナとロシアの紛争がニュースで報道されています(七月十七日現在)多数の民間人が犠牲になりこの悲惨な状況は、決して許されることではありません。しかし、その事は日常生活の中で次の出来事が起こつてくるとすぐ忘れてしまいます。又、よほど自分に関係がなければ、無関心で別世界の事と過ごしてしまひます。

ある先生は、信仰ということについて「人々がどんな悲惨な状態の中にあつても自分には関係がないと断ち切ることでできるものは、心安らかに、至福の時を生かされているのだと思います。しかし、これは宗教的装いを凝らしたエゴイズムの究極の姿ではないでしょうか」と問われています。

共にという大地にあるとき、どれだけ自分以外の他者を見いだし歩んでいけるのか、東本願寺の副チームで「差異を認め合う世界の発見」とありましたが、その願いが、どれ程困難な事か知らされます。個に留まり恩寵な所で見えていけない私に、この出来事は大きな問いを投げかけ続けていることです。

(北田)

真宗大谷派 旭川別院

歴史ある本来の姿での儀式

旭川別院を会場とした葬儀が執り行えるよう準備を致しました。亡き故人とお別れを告げるだけの告別式ではなく、故人との繋がりを大切に、仏教本来の儀式に基づいたご葬儀です。どうぞご利用下さい。



大谷ホールは、大きな会場で設備も豊富に備わっております。小規模でなくとも野卓でお葬式をされた方は是非ご利用ください。



使用料(葬壇・会場費込)

- 各広間……………100,000円(税込)
- 大谷ホール……………150,000円(税込)

※詳細は別院迄 TEL 0166-22-2409